

# 3カ年経営計画の進捗状況

当社グループは、2018年度からスタートした3カ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」の目標達成に向けて、取り組みを強化しています。

## 3カ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」(2018～2020事業年度) Challenge to Change —未来を切り拓くため、あらゆる変化に挑戦する—

### 基本方針

**既存事業の収益基盤強化**  
『利益』を押し上げる  
力強いコアビジネス

事業構造の転換や業務プロセスの改革・改善を進めることにより、既存事業の収益基盤を強化する。

**事業分野・領域の拡張**  
『売上』を生み出す  
新しいフィールド

成長路線を確かなものとするため、アライアンスやM&Aの活用等により、新たな事業の構築や分野・領域への展開を図る。

**健全な財務体質の維持**  
『成長』を支える  
安定したフレーム

将来にわたる持続的な成長を支えるべく、株主還元や成長投資とのバランスを確保しつつ、健全な財務体質を維持する。

### 2019年度の主な取り組み実績

- 岡山工場合成第9工場竣工(2019年11月)による増産体制整備
- 造り方改革推進プロジェクトによる利益率向上を目的とした将来の農業製造設備の検討
- 新農業原体開発のスピードアップ

- 村田長株式会社を完全子会社化(2019年3月)し、繊維資材分野へ進出
- GMP\*1 管理手法の基礎知識の習得

- 5期連続増配
- 売上高経常利益率 8.9%
- D/Eレシオ\*2 0.05倍
- 自己資本比率 60.7%
- ROE\*3 11.2%

### 2020年度の主な取り組み

- 生産体制の整備**
- 岡山工場合成第9工場の早期安定稼働の実現
  - 将来の新製剤を踏まえた農業製造設備構想の具体化
- 新農業原体の開発**
- 候補化合物の充実と有力化合物の開発ステージに向けた対応

- 売上高成長トレンドの確立**
- 生産者の省力ニーズに対応した高拡散性製剤技術の確立
  - GMP管理手法の取得(GMP管理手法に則した生産の実施)
  - 繊維資材事業との営業シナジーの検討・発揮

- 省エネルギーの推進**
- 工場を中心にエネルギーの見える化を図り、省エネルギー、省コストを推進
- グループガバナンスの強化**
- 関係会社の経営効率改善、関係会社の事業構造の見直し、関係会社とのシナジー効果の実現
- RPA\*4の活用促進**
- 業務解析によるRPA導入率・利用率の向上

\*1 GMP(Good Manufacturing Practice)：医薬品の製造と品質管理に関する国際基準のこと。  
 \*2 D/Eレシオ(Debt Equity Ratio 負債資本比率)：企業の借金である有利子負債が返済義務のない自己資本(株主資本)の何倍かを示す。数値が低いほど財務内容が安定している。(D/Eレシオ=有利子負債÷自己資本)  
 \*3 ROE(Return On Equity 自己資本利益率)：会社が自己資本をどれだけ有効に活用して利益を上げているかを示す指標。(ROE=当期純利益÷自己資本×100)  
 \*4 RPA(Robotic Process Automation)：ホワイトカラーのデスクワーク(主に定型作業)を、ソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念。  
 \*5 VOC(Volatile Organic Compounds 揮発性有機化合物)：蒸発しやすく、大気中で気体となる有機化合物の総称。浮遊粒子状物質や光化学オキシダントの原因物質の一つ。

### TOPICS：2019年度の活動内容

#### 岡山工場 合成第9工場竣工

ファインケミカル事業の生産能力拡大のため、岡山工場において建設を進めていた合成第9工場が完成し、2019年11月19日に竣工しました。新工場では、液体充填設備や精留塔などの自動化、制御室からの遠隔操作により、省力で安全な生産が実現しました。運転データを中央のコンピュータで一元管理することで、安定した製品品質を確保しています。

新工場の稼働により、岡山工場ファインケミカル事業の生産能力は14%向上し、当社の今後のさらなる収益性の向上に大きく寄与するものと位置付けています。

また、新工場の建設と今後のファインケミカル部門における生産能力の増強を見据えて、2019年11月に排水処理設備の改善と増設を行いました。



合成第9工場



排水処理設備

#### 張家港北興化工有限公司 環境安全設備の導入

張家港北興化工有限公司では、VOC\*5の排出削減のため、活性炭などによる排ガス処理設備を導入していましたが、排出規制の強化に対応し、2019年5月に蓄熱燃焼方式による排ガス処理設備を導入しました。

また、安全に関しては、自動化・遠隔操作化を進めるなど、安全生産と環境保護のレベルアップに取り組んでいます。2020年2月6日には、中国江蘇省張家港市より、「安全事故二重予防体系導入優秀企業賞」を受賞しました。



蓄熱燃焼式排ガス処理設備

### 計画と実績

